

Donald McDonald House  
Charities Japan  
Annual Report 2008

2008年 年間報告書



財團法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン  
〒163-1339 東京都新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー39階  
TEL:03-6911-6068 FAX:03-6911-6198  
[www.dmhcj.or.jp](http://www.dmhcj.or.jp)



財團法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン



# Letter from the Family



## はじめての出産、娘と歩んできた13年

はじめての出産でしたが、生まれた娘・陽菜乃(ひなの)には先天的な疾患があり、出産後そのまま救急車で大学病院に搬送されました。陽菜乃が退院の日を迎えたのは1歳半のときでしたがそれから、わたしと陽菜乃の長い闘病生活が始まりました。

わたし自身は、病気とは無縁の中で生活してきたので娘が病気ということに不安や戸惑いがありました。

どうして陽菜乃が…この先どうなるんだろう?



## ハウスと出会って

私と陽菜乃は福岡に暮らしていますが小学校に上がるとき、同じ疾患を持つ子のお母さんからハウスの話を聞き、存在を知りました。専門の先生や設備がしっかり揃った所で見てもらった方がいいと奨められたのもあり陽菜乃が4年生のときに、初めて国立成育医療センターとせたがやハウスを訪れました。

ハウスを見て本当に驚きました。福岡の病院では陽菜乃と同じ病室にエキストラベッドを入れて寝泊まりをしたり、ときには添い寝することもありましたが、ハウスではちゃんと個室の大きなベッドで休むことが出来ます。様々な形で支援をして下さっている方の心配りがいろいろなところに感じられます。

親ですから、つきっきりで陽菜乃の看護してあげたい。でもそのためには、私自身がちゃんと休んで気持ちを切り替えなければ陽菜乃にも優しく接することができませんからね。ハウスから毎日たくさんの元気をもらって、私は陽菜乃に優しく接することができるんです。



## 私たちを支えてくださっている皆様へ

せたがやのハウスはこれまで数え切れないほど利用しています。行き来をする中で「何をしているんだろう、いっそ東京に越してしまえば…」そう思うこともありました。ですが地元での交流もあり陽菜乃も中学2年生になってお友達もいるので、越したくないと感じています。もしハウスがなかったら、経済的な負担も大きいためこうして治療を受けることは厳しかったと思います。

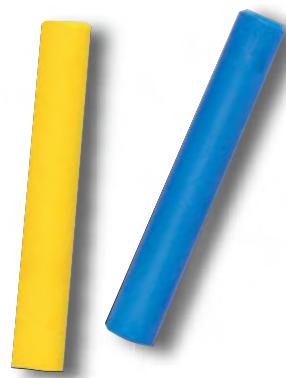
病気は、何よりも本人が一番つらい。わたしが守ってあげなければとずっと頑張っていましたが最近では逆に、陽菜乃から励まされることもあるんです。しっかりと成長してくれていることを感じています。

わたしたちを支えてくださっているたくさんの方々は正直言えれば私にとっては不思議な存在なんです。家族でも友人でもなく、言わば他人のためにどうしてここまでしてくださるんだろう、それはどういう思いなんだろうと。でもその支えがあるからこそ今安心して治療に専念出来ます。本当に感謝しています、ありがとうございます。

ハウスを必要としているご家族はまだまだたくさんいらっしゃいます。もっとハウスが増えてより多くの方が利用できるようになることを心から願っています。

2009年3月 宮内 明美

- 1** Letter from the Family ご家族からの手紙
- 4** Donald McDonald House Charities Japan 財団について
- 5** Message ご挨拶
- 9** House Information ハウス活動概要
- 16** Volunteer Activities ボランティア普及活動
- 17** Message from Families ご家族からのメッセージ
- 19** Grant & International Exchange Program 助成事業および国際交流、国内外研修派遣事業
- 21** Topics トピックス
- 30** Others いろんなサポート
- 31** Message from Supporters 応援メッセージ
- 33** Financial Report 決算報告
- 36** Board of Directors, Councilors and Selection Members 役員の紹介
- 37** Our Supporters サポーター紹介



# Donald McDonald House Charities Japan

財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンについて

## 財団設立の趣旨

現在、難病に苦しむ子どもの数は全国で20万人に及んでいます。言い換えると、難病の子どもを持つ家族はその数倍も存在することになります。これらの家族は、子どもが難病であるが故に自宅と入院先との二重生活による経済的な負担、家族が離れて暮らす不安等による精神的苦痛を感じています。

多数の個人、団体がこうした家族を支援すべく、難病の子どもとその家族のための滞在施設を提供し、運営してきました。しかしながら、大都市周辺の滞在施設の場合、病院から離れているところが多いことやボランティアの支援体制が諸外国のように十分出来ないなど、利便性の面でまだ多くの問



題を抱えています。そこで、この問題に適切に対処するための社会基盤と人的な教育の整備を図るために財団を設立しました。

私たち「財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン」は、ボランティアへの助成、国際交流などの活動に全力で取り組むとともに、社会全体で支援する仕組みづくりに寄与したいと念願しております。

## 財団の概要

名 称： 財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン  
 所 在 地： 東京都新宿区西新宿6丁目5番1号 新宿アイランドタワー39階  
 目 的： 本財団は、難病およびその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成並びにその家族等に対し必要な施設の設置等の措置を講じ、その有効適切な運営を行うこと等により、もって地域社会における支援体制の確立に寄与することを目的とする。  
 事 業： ①難病児及びその家族等を支援する福祉、医療分野等におけるボランティアへの助成事業  
 ②福祉、医療分野等におけるボランティアの国際交流、国内外研修にかかる助成事業  
 ③前号におけるボランティア活動を振興するための普及啓発事業  
 ④難病児及びその家族等のための滞在施設の設置、運営及び助成  
 ⑤その他前条の目的を達成するために必要と認める事業  
 設 立： 平成11年4月1日  
 主 務 官 厅： 厚生労働省

# Message



財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン  
理事長 開原 成允  
**Shigekoto Kaihara**  
Chairman  
Donald McDonald House Charities Japan



財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン  
専務理事 廣瀬 修  
**Osamu Hirose**  
Chief Executive Director  
Donald McDonald House Charities Japan

日本でドナルド・マクドナルド・ハウスの活動が始ってから今年で10年になります。最初の「せたがやハウス」が3年間の準備期間を経て難産の末生み出されてから7年が経ちますが、2008年末までに6つのハウスが急ピッチで整備され、延べ11,000以上の家族に利用していただいている。最近、日本でも医療機関の集約化が進んでいますが、それに伴い、今後小児の医療圏は広がることが予想され、遠隔地からの入院を余儀なくされる患者さんも多くなることでしょう。それを支えるのがドナルド・マクドナルド・ハウスです。毎日厳しい状況下で付き添いにあたっているご家族に少しでも安らいでいただきたい、そして笑顔で入院中のお子様に接していただきたい、という思いをいっぱいにして1,000人を超えるボランティアの方々がハウスで支援活動をしています。

ハウスを整備しそれを運営していくには莫大な費用がかかります。日本マクドナルド株式会社はじめ多くの企業からのご寄付、個人から頂戴する浄財、マクドナルドの店舗内の募金箱に一般の方々が入れてくださる善意のお金。これらすべてのおかげでハウスは成り立っています。お蔭様でこの活動の認知度も年々あがり、多くの方からご支援を頂戴できるようになってまいりましたがハウスを必要とされている方々はまだ沢山おり、不断の活動を継続していかなければなりません。

ハウスを支えてくださっている皆様への感謝の気持ちを込め、また財団の活動を知っていただくため、このたび2008年の年間報告書を作成いたしました。今後とも病気のお子さんとそのご家族のために努力していく所存ですので、一層のご支援をいただきますようお願い申し上げます。

It has been 10 years since the Donald McDonald House Charities Japan started its operation in Japan. During 7 years since the establishment and its challenging start of Japan's first Donald McDonald House, "Setagaya House" 6 houses including the first House were constructed at very fast pace by the end of 2008 and have served over 11,000 families in total. As intensification of medical services has accelerated in the country, each pediatric medical institution is expected to serve a wider area and there will be more children who will be hospitalized in institutions distant from their homes. And Donald McDonald Houses are here to help these children and families. More than 1,000 volunteers are involved in activities at the Houses to support these children and families, out of their earnest desire to make sure these families supporting ill children under severe conditions everyday can feel secure and take care of hospitalized children with a smile.

Vast expenses are required to maintain and operate these Houses. Donations from many companies including McDonald's Japan and individual donors as well as contributions from customers in donation boxes in McDonald's restaurants help keeping the Houses operating. These supports helped raise public awareness of DMHC activities over the years and gained further support from many people. Yet we must continue our efforts in promoting these activities since there are still many people out there who need our service.

The 2008 annual report was prepared to share our activities and express our gratitude to all who supported the Houses. We will continue to support seriously ill children and their families, and in this mission humbly ask for your continued support.

財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンの専務理事に就任してから3年が経ちました。永年主に米国企業で仕事をしていた関係で、多くの方がボランティアに参加して地域活動に貢献しているのが日常的に行われているのを目の当たりにしてきました。このドナルド・マクドナルド・ハウスの活動はまさに米国的な相互互助そのものの活動であり、その理念がそのまま日本で踏襲されていることに感嘆を覚えたものです。誰でもが将来を担う子ども達が健康で健やかに成長するは切実な願いですが、不幸にして病気を患ったお子様が沢山存在することも事実です。そのお子様とご家族をできる範囲で支援していくことは大変意義のあることです。日本にもまだまだハウスを必要としているお子さんとご家族がおります。私どもは少しでも多くのハウスを建設し患者家族の方々に役立ちたいと願っていますので、将来に向けてどのような貢献ができるかも今後更に検討したいと考えております。またドナルド・マクドナルド・ハウスのすぐれた点は世界的に一つのコンセプトで運営されていることで、世界中のすべてのハウスが同一の理念を持ち地域の方々の協力のもと運営されています。多くの加療中のお子様を持つご家族を支え、しかもそれが世界中に広がりその数も年々増加しています。世界的な不況の中ですが、重い病気と闘っているお子さんとそのご家族を一人でも多く支えるため、今まで支えていただいた多くの企業や個人の方々に心からの感謝を申し上げるとともに、皆様に一層のご尽力をお願い申し上げます。

It has been 3 years since my assumption of the office of Chief Executive Director of the Donald McDonald House Charities Japan. While I worked in the United States for a long period of time, I noticed that many people participate in community activities as volunteers on a daily basis.

Activities of Donald McDonald Houses are activities of mutual assistance and cooperation I saw in the U.S. and I was a little surprised and really impressed to know that this philosophy of mutual support is in truly practice in Japan. While we all wish earnestly that children, who are our future, will stay healthy and grow happily, there are actually many children suffering illness. And how wonderful it is to support such ill children and their families by doing what we can. Many children and families still need Houses in Japan. We would like to help the families who need our help by building Donald McDonald House. An outstanding thing about the Donald McDonald Houses is that they have same management concept on a global scale. All of them have the same philosophy and are operated with help of their local communities. The Houses support thousands of families supporting children under medication. Their network is expanding globally and the number of Houses is increasing year by year. While we expect difficulties in fundraising under the ongoing worldwide economic recession, I would like to express my deepest gratitude to every company and individual who have supported in helping as many children fighting serious diseases and families as possible and to ask for their continued support and assistance.



厚生労働省 社会・援護局  
局長 阿曾沼 慎司

**Shinji Asonuma**  
Director General  
Social Welfare and War Victims' Relief Bureau



日本医学会  
会長 高久 史麿  
**Fumimaro Takaku**  
President  
Japanese Association of Medical Sciences

ドナルド・マクドナルド・ハウスは、自宅を離れ長期入院されている子どもたちに対し、ご家族が病院の近くで安心して看病することができる滞在施設として低料金で利用できるほか、他のご家族とも交流し励まし合えるなど、精神的なサポートも期待できる施設です。昨年度において延べ6,445人の宿泊利用があったと伺っており、多くの患者さん、ご家族の支えとして大変貴重な役割を果たしてもらっています。ハウスの運営につきましても、地域のボランティアの参加により、ハウスの清掃をはじめ、見学者の案内やハウスの運営費をまかなうための募金活動、利用者への利用案内など、年間で延べ15,025人という多数のボランティアの支援により、素晴らしい取組がなされているところです。

昨年12月には、6番目のハウスが札幌に開所され、北海道においても、新たな地域の支え合いの拡大・強化が期待されます。  
ハウスの活動の益々のご発展をご期待申し上げます。

Donald McDonald Houses provide inexpensive accommodations to families of children hospitalized in institutions away from their homes. The Houses are located nearby these institutions to allow these families to take care of the children without anxiety and receive mental support through interactions with other families. We can know that they play a very valuable role in assisting ill children and their families from the fact that a total of 6,445 people stayed in the Houses last year. The House's great efforts have been supported by a total of 15,025 local volunteers in a year through such activities as cleaning the Houses, giving a tour in Houses to visitors, fundraising to finance operational expenses of the Houses, and serving as a guide for House users.

As the sixth House was opened in Sapporo in December 2008, the foundation is expected to expand and reinforce mutual support in the local community also in Hokkaido.

I wish further success and development of the Houses' activities.

日本の医療は、最近の20年位の間に大きく変わってきた。私が医学教育を受けた頃には、医療は医師が行うものであると皆思っていました。しかし、その後、医療は、医師だけで行うものではなく、医師、看護師、薬剤師、理学療法士など、多くの医療職がチームを組んで医療に当たる必要がある事が広く認識される様になりました。更に最近では医療関係者だけでなく、患者さん自身も治療の選択に参加して納得した上で医療を受ける様になってきました。

日本医学会は、4年に1回日本医学会総会という大きな学会を開いています。この会には、全国から2万人を超える医師が集まりますが、私も、1987年、1999年と東京でこの会が開かれた時には、その運営に関わさせていただきました。また2011年の第28回総会を日本医学会長の立場で主催しています。この日本医学会総会を見ても、今迄私が述べてきた医療の流れがおわかり頂えると思います。1987年には、一部の患者さんが会に参加されましたし、1999年の会からは、それまで閉じていた医学会総会の展示会を「医学博覧会」として一般市民に医療を理解していただく為の場にいたしました。今では一般市民の方々の理解と協力がなくては医療が成り立たなくなっています。2011年に開かれる総会では、この流れが更に明らかに示されると思います。

こうした最近の医療の流れを考えると、ドナルド・マクドナルド・ハウスの事業は本当に素晴らしい活動だと思います。ここでは、一般市民の方々がボランティアとして、患者家族の支援をされています。ドナルド・マクドナルド・ハウスへの募金は、広く全国に展開されていて、一般市民の方々の医療に対する関心を深めています。

先にも申し上げた様に、これからの医療は、一般市民の支援なくしては成り立ちません。その最も先端を行っているのがドナルド・マクドナルド・ハウスの事業だと思います。日本の医療の発展の為に、ドナルド・マクドナルド・ハウスの活動の輪を更に拡げていただく事を切望しています。

Medical care in Japan changed remarkably in the last 20 years. Everyone thought, in those days when I received medical education, that it was doctors who provide medical care. Since then, it has become widely recognized that medical care should not be provided only by doctors and many medical professionals including nurses, pharmacists and physical therapists in addition to doctors need to work as a team. And more and more patients now participate in medical care by making decisions and agree on their medical treatment.

The Japanese Association of Medical Sciences holds a major academic meeting called the General Assembly of the Japan Medical Congress every 4 years. The assembly attended by more than 20,000 doctors. I myself got involved in operation and management of assemblies held in Tokyo in 1987 and 1999 and will host the 28th assembly in 2011 as the president of the association. You will see such changes in the medial care as described above if you take a look the progress of these assemblies. Some patients participated in the assembly held in 1987. Exhibitions held along with the assemblies, which had been accessible only by medical professionals, is now opened to the public as a "Medical Expo" to enhance public understanding of medical care and treatment. Public understanding and cooperation are now crucial for effective medical care. I am sure you will see these trends more clearly through the 2011 assembly.

Considering the recent trends in the medical field, the Donald McDonald Houses conduct truly great activities. In the Houses, ordinary citizens help families of patients as volunteers. Fundraising efforts for the Houses are deployed nationwide and enhance public interest in medical services.

As I mentioned above, medical services will not be viable any more without support from the public and Donald McDonald Houses are at the leading edge of the voluntary support. And I truly hope Donald McDonald Houses will expand their activities for further development of medical services in Japan.

# House Information



Donald McDonald House  
2008年の利用家族は、2,509家族



## Donald McDonald House Setagaya ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがや



### 施設概要

2001年12月に誕生した国内第1号の「せたがやハウス」は国立成育医療センターに隣接して建てられました。小児ベッド数が460床ある国立成育医療センターには、全国各地から患者が入院または通院しています。



国立成育医療センター  
運営部長 亀井 美登里

ドナルド・マクドナルド・ハウスの運営を考えるとき、ボランティアの力なくしてあり得ないのですが、ここまで見事に運営を行っている例は他ではあまり聞いたことがありません。ボランティアとは、自発性、無償性、利他性に基づく活動、またはそれに携わることであるといいますが、これは、まさにわが国の社会保障の原点ともいべき「相互扶助」の姿ではないでしょうか。ふきのとうのように静かだがたくましく息吹いている活動を見るにつけ、成育医療の将来への新たな息吹と大いなる飛躍への予感に胸が膨らむ想いがつります。これからも成育医療センターを支えて強い力で支えてください。

### 収支報告 (単位:円)

収入	支出
宿泊料	9,153,000
寄付金収入	1,986,530
会費収入	1,111,000
その他	101,607
財団補助額	13,432,758
合 計	25,784,895
給料手当	8,061,138
水道光熱費	6,350,572
租税公課	5,578,649
固定資産取得費	665,674
その他	5,128,862
合 計	25,784,895

### ハウス情報

住 所:〒157-0074  
東京都世田谷区大蔵2-10-10  
電 話:03-5494-5534  
F A X:03-3749-2267  
延べ床面積:1,744.29m<sup>2</sup>  
規 模:地上4階建て、地下1階  
ベッドルーム数:21室

### 2008年実績

利用家族数:639家族  
総宿泊数:5,985泊  
平均滞在日数:9.4日  
ボランティア登録者数:220名  
ボランティア活動時間数:12,358時間





## Donald McDonald House Sendai

ドナルド・マクドナルド・ハウス せんだい



### 施設概要

2003年11月に誕生した国内第2号目の「せんだいハウス」は宮城県立こども病院のそばに建てられました。こども病院は160床あり、ハウスは主に東北地方からの患者家族が利用しています。



宮城県立こども病院  
院長 林 富

せんだいハウスには、2003年開設以来これまでに延べ3,354家族、7,891人が11,708泊、「第2の我が家」として宿泊されました。スタッフを約220名のボランティアさんと、隣接する宮城広瀬高校の生徒さんが支援して下さり、病気と闘うご家族にとっての「安らぎのあたたかいハウス」としてご利用頂いておりますこと感謝申し上げます。「みんなが助け合って生きている」ことを教えてくれるのがドナルド・マクドナルド・ハウスです。



### 収支報告 (単位:円)

収入	支出
宿泊料	3,522,000
寄付金収入	8,056,482
会費収入	1,111,000
水道光熱費	552,000
租税公課	4,885,993
その他	2,430,526
財団補助額	440,725
合 計	434,674
	15,588,512
	5,312,094
	21,119,769
	合 計



## Donald McDonald House Kochi

ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち



### ハウス情報

住 所:〒781-0111  
高知県高知市池953-10  
電 話:088-837-3650  
F A X:088-837-3652  
延べ床面積:1,180.72m<sup>2</sup>  
規 模:平屋建て  
ベッドルーム数:16室

### 2008年実績

利用家族数:277家族  
総宿泊数:1,112泊  
平均滞在日数:4.0日  
ボランティア登録数:124名  
ボランティア活動時間数:8,864時間



### 施設概要

2005年2月に誕生した国内第3号目の「こうちハウス」は同時期に開院した高知医療センターのそばに建てられました。高知医療センター内には母子医療センターがあり、ハウスには小児の患者家族が宿泊しています。



高知医療センター  
企業長 山崎 隆章

太平洋を泳ぐ鯨をイメージした「ドナルド・マクドナルド・ハウス こうち」では、多くのボランティアに支えられ、難病の子どもたちやそのご家族が病気と闘っています。

治療を行う高知医療センターにとって、このハウスの存在は大きく、従事する職員も安心して医療活動に専念することができます。また、医療支援のみならず、地域の若い人たちにボランティア活動を伝え育てる場としても大切な施設となっています。

こうした支援を続けていただいている財団には、心から感謝申し上げ、更なる発展を期待いたします。



### 収支報告 (単位:円)

収入	支出
宿泊料	1,505,000
給料手当	7,218,679
寄付金収入	424,902
水道光熱費	4,885,993
会費収入	240,000
租税公課	186,636
その他	102,374
固定資産取得費	434,674
財団補助額	12,612,543
合 計	4,324,610
	14,884,819
	合 計





## Donald McDonald House Osaka-Suita ドナルド・マクドナルド・ハウス おおさか・すいた



### 施設概要

2005年10月に誕生しました国内4号目の「おおさか・すいたハウス」は、国立循環器病センターの向かい側に建てられました。国立循環器病センターは小児病院ではありませんが、全国から心臓病の患児が入院または通院に来ています。入院患者の家族の宿泊場所がなく困っていたことから病院および自治体からハウス建設の依頼を受け、ハウス建設が実現しました。



株式会社ベルエポック  
代表取締役 佐藤 明

私はマクドナルドのFCオーナーですが「おおさか・すいたハウス」がオープンした当初から運営委員としてドナルド・マクドナルド・ハウスの活動に携わっております。従ってハウスの存在は私にとって非常に大切なものです。マクドナルドは世界中でドナルド・マクドナルド・ハウスを支援していますが、この大阪によくやくハウスが建設され多くのボランティアの方がハウスで働かれているのを見ると胸が熱くなる思いがします。現在おおさか・すいたハウスには国立循環器病センターに入院されている患者家族の方が大勢利用されています。お子様が入院されているご家族が安心して看病できるように私も微力ながら精一杯応援していきたいと思っております。

### 収支報告(単位:円)

収入	支出
宿泊料 5,897,000	給料手当 8,375,439
寄付金収入 1,913,404	水道光熱費 4,248,783
会費収入 589,500	租税公課 5,688,264
その他 891,459	固定資産取得費 1,340,824
財団補助額 12,016,434	その他 5,124,260
合 計 24,777,570	合 計 24,777,570

### ハウス情報

住 所:〒565-0875  
大阪府吹田市青山台4-31-20  
電 話:06-6836-6551  
F A X : 06-6831-7611  
延べ床面積:1,292.88m<sup>2</sup>  
規 模:共有棟(平屋建て)、宿泊棟(2階建て)  
ベッドルーム数:18室

### 2008年実績

利用家族数:453家族  
総宿泊数:3,923泊  
平均滞在日数:8.7日  
ボランティア登録者数:211名  
ボランティア活動時間数:14,681時間



## Donald McDonald House Tochigi ドナルド・マクドナルド・ハウス とちぎ



### 施設概要

2006年9月に誕生しました国内第5号目の「とちぎハウス」は自治医大とちぎ子ども医療センターの向かい側に開設されました。とちぎハウスは、自治医科大学の建物の一部を無償でお借りし、県の補助金を使って大学側に内装整備していただいたニューモデルのハウスです。



自治医大とちぎ子ども医療センター  
副センター長 朝野春美

病院は通常の生活を送りにくい場所もあります。そのような時に、「病院での生活に、通常の生活をどれくらい保障できるか」が、とても重要になります。ハウスと共に、子どもたちやご家族の通常の生活を支援できるように…と、取り組んでいます。医療者だけでは支えきれない部分を、ボランティアの方々が担っています。



### 収支報告(単位:円)

収入	支出
宿泊料 2,948,000	給料手当 7,390,596
寄付金収入 1,115,023	水道光熱費 2,235,084
会費収入 521,129	租税公課 133,445
その他 239,932	固定資産取得費 434,674
運営費負担金 3,935,500	その他 2,570,484
財団補助額 4,004,699	合 計 12,764,283
合 計 12,764,283	合 計 12,764,283



## House Information



### Donald McDonald House Sapporo ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ



#### 施設概要

2008年12月に誕生しました国内第6号目の「さっぽろハウス」は北海道立子ども総合医療・療育センター（通称：コドモックル）の向かい側に開設されました。コドモックルは210床あり道内からの患者家族が利用しています。



北海道立子ども総合医療・  
療育センター  
小児医療監 平野 敏憲

我々の施設は北海道唯一の小児専門の総合医療・療育施設として、一昨年設立されました。しかし、北海道は国土の約22%と広大で、札幌市を起点とした場合の医療圏は最大で400kmにも及びます。このため、難病を抱えたお子さんやご家族の方にとっては転院、外泊、面会などの負担は極めて大きく、また冬期間は積雪のために通院が困難になることもしばしばあります。今回、北海道では初めての「さっぽろハウス」オープンはこうした問題を解決する大きな力となりました。設立に向けて尽力された関係者の方々に厚く感謝しますとともに、今後とも病める子どもたちとご家族のために一層のご支援をお願い致します。

#### 収支報告 (単位:円)

取 入	支 出
宿泊料	0
寄付金収入	1,750,000
会費収入	0
その他	0
財団補助額	261,812,851
合 計	263,562,851
給料手当	1,745,521
水道光熱費	64,552
租税公課	707,533
固定資産取得費	256,185,725
その他	4,859,520
合 計	263,562,851

#### ハウス情報

住 所:〒006-0041  
北海道札幌市手稲区金山  
1条1丁目2-5  
電 話:011-688-4533  
F A X :011-691-8866  
延べ床面積:994.2m<sup>2</sup>  
ベッドルーム数:10室

#### 2008年実績

ボランティア登録者数:230名  
ボランティア活動時間数:936時間



## ボランティア普及活動

#### ■ボランティア祭

せんだいハウスが宮城県立こども病院とともにオープンして2008年11月で5年を迎えました。これからのボランティア活動のさらなるステップになるように「ボランティア祭」を11月27日、28日の2日間にわたって実施しました。お互いのボランティア活動の歩みや写真を展示して活動の歴史を紹介し手作り品のバザーを行いました。来場した病院職員や患者家族からは「皆さんの温かい気持ちが伝わってきました」「素敵な作品、手作り感があふれていた」とのメッセージをいただきました。

2日目には聖路加国際病院副院長の細谷亮太先生をお招きし「人のために働くということ」をテーマに記念講演会を開催し100名以上の方が参加しました。



#### ■バーベキュー大会

7月13日(日)富士通株式会社ボランティアの会の皆様が、せたがやハウスに滞在されているご家族そしてボランティアの方を招待し、バーベキューパーティーを開催してくださいました。このボランティアの会には、総勢160名の方が登録されており、施設の慰問やパソコンの寄贈などを行っているそうです。

今回、ハウスの存在を知った皆様が自分達は何ができるだろうと考え、ボランティアの方への慰労そしてご家族の気分転換になる「バーベキュー」を企画してくださいました。当日は暑いくらいのいいお天気のなか約80名の方が参加し、おいしいバーベキューを堪能しました。

「こんなことをしてくださいましたから明日からのボランティア活動を頑張らなきゃ！」とハウスのボランティアの方は話していました。たまたま病院からの外泊許可が出てバーベキューに参加することができた患者さんもいて、みなさんとても楽しそうでした。



#### ■餅つき大会

おおさか・すいたハウスでは毎年12月に鹿島建設株式会社のご協力で餅つき大会を行っています。

子どもが入院して付き添いをされているご家族に少しでも季節感を感じていただけるよう、そして病気の子ども達にも楽しい時間を過ごしてもらえるようにハウス建設に携わった鹿島建設の社員の皆様からご提案いただきました。

毎年10名から20名の社員の皆様がハウスに来て準備から当日の段取りまで全て行ってくださり、ハウスに滞在しているご家族やボランティアの方は交流を図りながら楽しいひと時を過ごしています。毎年恒例のこの行事を楽しみにしているボランティアの方も少なくありません。



# Message from Families



ハウスをホッとする場所にしていただき、ありがとうございます。毎日聞く「お帰りなさい」「いってらっしゃい」というやさしい声が励みになり、うれしく思いました。

荻原 英将くん(8才)神奈川県 おおさか・すいたハウス

神奈川県鎌倉市から大阪へ。遠く、なれない場所で不安でしたが、ハウスができたおかげで、消灯まで子どもと一緒にいられるなど、遠方からきている家族にとっては大変ありがとうございました。

福田 晃輝くん(12才)神奈川県 おおさか・すいたハウス



生後3ヶ月になり、ようやく育児になれたかな、という時に突然の入院。大きく環境が変わる中でハウスの温かさにどれだけ助けられたか。ハウスで出会った皆様は一生の宝物です。

桑田 詩茉ちゃん(2才)島根県 おおさか・すいたハウス



ハウスを知り、利用し、改めて思い、初めて知ったことがあります。それは、人は一人では生きてはいけない。必ず支えられて生きている。たくさんの助けがあるっていうことです。

人見 愛ちゃん(1才)埼玉県 せたがやハウス



毎日、とても元気に過ごしています。月に一度の外来と薬を飲む生活は続いているが、家で普通の生活が送れることだけでも一年前を思うと夢のようです。

綿引 杏那ちゃん(1才)埼玉県 とちぎハウス



脳性マヒで手足(特に足)が不自由ですが、元気に学校に通いながら訓練に励んでいます。手術、入院後には、自立心が育ち、今度、和太鼓を始めました。

吉田 喬祐くん(8才)群馬県 とちぎハウス



皆さん一人一人の力が、愛が、言葉が、笑顔が、どれだけ私のはげみに勇気になっているか…。

本当に感謝でいっぱいです。

綿澤 学くん(3才)栃木県 とちぎハウス



今年の4月から小学校です。また、今シーズンからスキーを始めました。近くの大鰐スキー場にいって、元気に滑って?います。

阿部 勇聖くん(6才)秋田県 せんだいハウス



いまは無事ギブスも取れ、元気に保育園に通っています。退院後、保育園で開かれた発表会では大きな声で歌の発表をすることができました。

古川 光輝くん(6才)埼玉県 せたがやハウス



穂野花は、元気に保育園に通っています。成長・発達も順調で食器の片付けも一生懸命手伝ってくれます。トイレ掃除も大好き?です。桃佳は、毎日2時間メガネにカバーをつけて、弱視の視力回復訓練をしています。4月にはピカピカの一年生です。

五味 桃佳ちゃん(6才)・穂野花ちゃん(1才)群馬県 せたがやハウス

### ■ボランティア活動費助成

条件:難病・重病の子どもを有する家族のための滞在施設を支援しているボランティア団体または個人

助成先団体	助成金額
たんぽぽハウス	200,000
NPOラ・ファミリエ	200,000
とちぎ骨髓バンクを広める会・サポートハウス小山	200,000
ペンギンの会	200,000
京都ファミリーハウス	200,000
にいがたファミリーハウスやすらぎ支援の会	200,000
助成総額	1,200,000

### ■国際交流、国内外研修派遣

条件:難病・重病の子どもを有する家族のための滞在施設を支援しているボランティア団体または個人

助成先	助成金額	助成先	助成金額
荒木 正子	30,000	佐藤 昭介	30,000
絵野沢 伸	30,000	地引 八重子	30,000
江里口 佳子	30,000	田中 美智子	30,000
大場 和子	30,000	花塚 諭美子	30,000
加納 正雄	30,000	渡辺 紀代子	30,000
菅野 清子	30,000	根岸 美恵子	100,000
北村 佐代子	30,000	大島 由紀	200,000
木村 直子	30,000	佐藤 恵美子	200,000
佐藤 敦子	30,000	山崎 亜子	200,000
助成総額			1,120,000

### ■イギリスのドナルド・マクドナルド・ハウスを訪問して

山崎 亜子

Alder Hey Children's Hospitalはヨーロッパで最大の小児病院です。世界中から病児が診察に訪れます。その敷地内にドナルド・マクドナルド・ハウスがあります。ハウスもヨーロッパ最大の規模で69のベッドルームが備わっています。

ハウス内のいたるところに大きな小切手のコピーや誰からの寄付を示すかのプレートが飾られています。誰がいくら寄付しているかを明確にするには日本人には抵抗があると思いますが、欧米では普通のことだそうです。

ハウス利用者でなくても利用できるデイルームがハウス内にあり、お茶を飲んだり、ちょっとした集まりなども行っていて親同士のコミュニケーションの場になっていました。さらにハウスの裏側には広い庭があり2階建ての建物が建っています。ここは外泊を許可されたお子さんとその家族が過ごす家で、「家」ということを大事にしていると感じるような造りでした。

日本は10年ほど欧州より遅れている感じがしますが、急ぎすぎて外見が良くても中身がついてこなくては意味がありません。地道に築くことが良き福祉への確かな道なのだと感じました。



### ■さっぽろハウスを訪ねて

荒木 正子

さっぽろハウスは子ども総合医療・療育センターに隣接していて、自然も身近にあり、札幌市中心からは電車でも車でも交通には恵まれています。

さっぽろハウスの建物はモダンな様式で随所に「エコロジー」が取り入れられて素敵でした。そして私が訪れた2月の真冬の中でもハウスの中は心地よい暖かさでした。キッチンなど所々にある小窓が自然な光を導き、気持ちを軽くしてくれますし、リビングルームの格子のガラス戸は郷愁のような気分さえ覚え心が和みました。

私の活動しているこうちハウスは広い建物の中に倉庫や16室のベッドルーム、共有スペースなどたくさんの部屋がありますが、10室のさっぽろハウスはこじんまりしていて歩く導線もコンパクトで機能的な面が印象的でした。



さっぽろハウスはハウスマネージャーを始めボランティアの皆様は若い方が多く、自分たちでハウスを育てていこうという思いが伝わってきました。

ハウスの根幹の理念は不变ですが、それぞれのハウスが地域特性や環境を考えた「ゆとりと幅」のある運営も大切なこと痛感しました。高知の人口や立地条件を変えることは難しいでしょうが、こうちハウスでの特色を生かすにはどうしたらいのかもさらに考えなければと思いました。

さっぽろハウスが大地のようにのびやかに、あったかに、ボランティアの方々と発展されることを願いつつ、この研修に参加して他のハウスを知ったことは、改めて自分たちのハウスを知ることになると感じました。

このような機会を与えてくださいありがとうございました。





## 国内6号目の『ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ』オープン!

2008年に国内6号目のハウスとして『ドナルド・マクドナルド・ハウス さっぽろ』が誕生しました。

オープンに先駆けて7月15日に行われた地鎮祭の鍬入れには札幌在住でせたがやハウスを患者として利用された渡辺亜矢女ちゃん(5歳)が参加してくださいました。

またハウスの開所式が12月18日とり行われました。当日は財団の開原理事長をはじめ高橋北海道知事、坂本厚生労働省大臣審議官、日本マクドナルド原田CEOにご出席いただきました。

北海道およびこども病院から2~3年前よりハウス建設のお申し出があり、今回ようやく完成までこぎつけた念願のハウスです。「道内の子ども達にこんな素敵なかリスマスプレゼントをしていただき、大変嬉しく思っています。」と開所式当日は知事より挨拶をいただきました。

さっぽろハウスは10室のベッドルームが備わった延べ床面積が約1,000m<sup>2</sup>のハウスです。広大な土地を北海道より無償でお借りし建設されました。隣接している北海道立子ども総合医療・療育センターに入院している患者家族のサポートを目的に2009年1月19日より実際にご家族の利用が始まりました。

地域のボランティア230名の方と地域に愛されるあたたかなハウス作りに努めて参ります。



## 安倍元首相のハウス訪問

2月28日安倍晋三元首相と奥様である昭恵夫人がせたがやハウスを視察されました。昭恵夫人はボランティアに大変興味を持っておられ、ボランティア活動が活発に行われているハウスそしてその隣にある国立成育医療センターの訪問を望んでいらっしゃったそうです。

ハウス内をご覧になったお二人は、ハウスの趣旨に深く感銘を受けられ、熱心に説明を聞いていらっしゃいました。またハウスに滞在されているご家族にも話かけられ、「どちらからいらしたんですか」「大変でしょうが頑張ってくださいね」と励まされていました。

記念にボランティアの方が作られたプレゼントを贈り大変喜んでいただきました。最後にはボランティア全員と握手をしていただき、ボランティアの方も感激の様子でした。



## メジャーリーガーとの交流

ハウスを利用された子ども達にメジャーリーグ ベースボールジャパンより素敵なプレゼントをいただきました。

3月23日、東京ドームで行われましたMLB開幕戦シリーズのプレシーズンゲーム『オークランド・アスレチックスVS阪神タイガース』の試合に招待していただきました。

たくさんの応募の中から幸運にも14組28名の親子が選ばれ、北は岩手、南は高知から来た子ども達はメジャーの試合を観戦できることを楽しみに東京ドームに集まってくれました。

試合前にはなんとフィールドにて、練習を見学し、その後



はベンチに入って選手と握手し、さらにサインをいただきました。前日、巨人を相手に投げていたレニー・ディナルド投手もベンチにいて、気さくに話しかけサインをしてくれました。

ジャック・カスト、ドニー・バック、トラビス・マーフィーの3選手のホームランを目の前で見ることができ、メジャーの力を体で感じることのできた素晴らしい試合でした。

病気を克服した子ども達にとって、とても素敵なプレゼントでみんな笑顔の一日でした。



## APMEAコンベンション

2年に一度、アジアパシフィックエリアにあるドナルド・マクドナルド・ハウス、そして財団関係者が集まりコンベンションが開催されています。今年はニュージーランド・クライストチャーチにて開催され、およそ200名の関係者が集まりました。日本からもハウスマネージャーが参加し、他国のハウスマネージャーやボランティアの方と交流をはかりました。

どのようにしてハウスの広報活動をおこなっているのか、寄付集めの苦労話、ボランティアの活動状況などの意見交換会が積極的に行われました。

遠く離れた国に同じ理念の下で活動している仲間がたくさんいることが実感できる有意義な会議となりました。



## ミスユニバース2007がサポーターに！

ミスユニバース2007世界大会第1位の森理世さんがせたがやハウスを訪問してくださいました。

ミスユニバースとしてさまざまなチャリティー活動に参加された森さん。ニューヨークに滞在していた際にドナルド・マクドナルド・ハウスを毎週訪問し、子ども達と遊びながらチャリティー活動をされていたそうです。「パパとママがそばにいるから入院していても寂しくない」と言っていた子どもの言葉が印象的で、その子どもの笑顔が忘れられないと話してくださいました。

日本にもドナルド・マクドナルド・ハウスはあるとは聞いていたものの、アメリカほど認知度が高くなないので、なんらかの方法でもう一度このハウスのお役に立ちたいと思い、日本のハウスを訪問してくださいました。

ハウスを見学され「これからはどんどんチャリティーに参加していきたい。子ども達と遊ぶことが大好きなので、ハウスで何かイベントなどがあったら声をかけてください。」と気さくに話してくださいった森さんが非常に印象的でした。



## 仙台放送まつりにて募金活動

9月27日、28日の2日間、宮城県仙台市にて「仙台放送まつり」が開催され、せんだいハウスがハウスのPR活動と募金活動を行いました。

この「仙台放送まつり」は地元出身のタレントも多く出演し、地域の皆さんが毎年数万人集まっているお祭りです。今回マクドナルド社のご協力により、ハウスとして活動内容を紹介するパネル展示とチャリティーブースを設定し、認知度アップのための広報活動と募金活動を展開しました。ドナルドも親善大使としてハウスのブースに来て、そのたびに多くの人が集まり大人気でした。さらにハウスを過去に利用されたご家族もブースを訪問してくださいました。中には他のハウスを利用したご家族やテレビを見て駆けつけてきたご家族もいて懐かしい再会もありました。

この2日間でなんと120,593円もの募金が集まりました。募金にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 5周年記念「ボランティア祭」

せんだいハウスがオープンして5周年を迎えました。そこでこれまでのボランティア活動のさらなるステップになるように「ボランティア祭」を11月27日、28日の2日間にわたって子ども病院ボランティアハウスにて実施しました。ハウスそして病院のボランティア活動の歩みや写真を展示してこれまでの歴史を紹介し、さらに手作り品のバザーを出店しました。

2日目には聖路加国際病院副院長、細谷亮太先生による記念講演を開催し100名以上のボランティアの方にご参加いただきました。ボランティア祭の会場に来られた病院の職員の方や患者家族から「皆さんの温かい気持ちが伝わってきた」「素敵なお品、手作り感があふれていた」とのメッセージをいただきました。

これからもせんだいハウスそして子ども病院のボランティア同士で連携し合いながら、子ども達とご家族を支えていきたいと思います。



## 国立循環器病センターより感謝状贈呈

オープンして約2年半、3月22日におおさか・すいたハウスは延べ1,000家族、10,000泊の利用を達成し、26日に感謝レーションを行い国立循環器病センターより感謝状をいただきました。当日は国立循環器病センターの北村総長（当時）、徳永看護部長（当時）、川口看護師長の3名がハウスにいらっしゃり、感謝状と共に思いをこめて育てる願いが叶うといわれる観葉植物「ホヤ・ケリイ」を贈呈していただきました。

「ハウスが病院のそばにあるおかげで、患者さんとそのご家族が本当に助かっています。ハウスの温かい雰囲気そしてボラ



ンティアの方のサポートが、ご家族にとってどれほど大きいか。患者家族に代わって感謝申し上げます。」と北村総長がご挨拶くださいました。

セレモニー後は、近畿一帯で保育園や幼稚園で子ども達に手品を披露しているマジシャンのジャスパー瀧口氏をお招きしてのマジックショーが行われ、この日に退院した患者さんとそのご兄弟、そしてボランティアの皆さんに楽しんでいただきました。



## 第10回ドナルド マクドナルド ハウス チャリティゴルフ

毎年恒例のチャリティゴルフが今年も戸塚カントリー倶楽部にて行われ、プロゴルファー40名を含め160名の方がご参加くださいました。今年は第10回の記念大会ということで、第1回より連続出場されている企業の皆様に記念品を贈呈させていただきました。また優勝チームには2009年にアメリカ・メリーランド州で開催されるLPGAトーナメントのVIP観戦チケットが副賞として贈呈されました。

今年もプロゴルファーの皆様の協力によりオークションも会場内で行われ、プレイ後のパーティーも大盛況でした。今回のチャリティゴルフでは8,743,626円のご寄付を頂戴しました。皆様いつもご支援いただきありがとうございます。



9月29日にドナルド・マクドナルド・ハウスのチャリティーパーティーが開催され、ハウスをご支援いただいている皆様300名の方にお集まりいただきました。

2008年はさっぽろハウスオープンの年ということで、なごみ保育園児の「ソーラン節」でパーティーは始まり、会場内ではさっぽろハウスの予想完成図などを紹介しました。

日頃ご支援いただいている企業の皆様への感謝の意を表すために「アワードセレモニー」を行い、2008年にご支援いただきました企業17社に対し、財団より感謝状を贈呈させていただきました。



## カーディナル基金からの贈り物

最初のドナルド・マクドナルド・ハウスがフィラデルフィアに誕生してから、2009年には35年を迎えます。この35周年を記念してカーディナル基金のバーバラ・マクリードさんは、世界中のハウスの写真集を作成することを決めました。そしてこの写真集を作成するにあたり30ヶ国にある全てのドナルド・マクドナルド・ハウスを訪問されました。

このような素晴らしいサポーターを日本で温かくお迎えしようとうちハウスでは、日本の文化に触れていただくためにボランティアの方によるお茶のおもてなしを行いました。バーバラさんにとって茶道は初体験だったようでとても感激されていた様子でした。

完成した写真集は世界の全ハウスに寄付してくださるそうです。世界中のハウスを1冊の素晴らしい写真集で繋げてくださるカーディナル基金に感謝いたします。

最後に実際にハウスを利用されたご家族からのメッセージを紹介し、改めてハウスの必要性を訴えるとともに、今後の継続的なご支援を呼びかけました。

多くの皆様のご協力で、当日は101社より3,751,700のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。



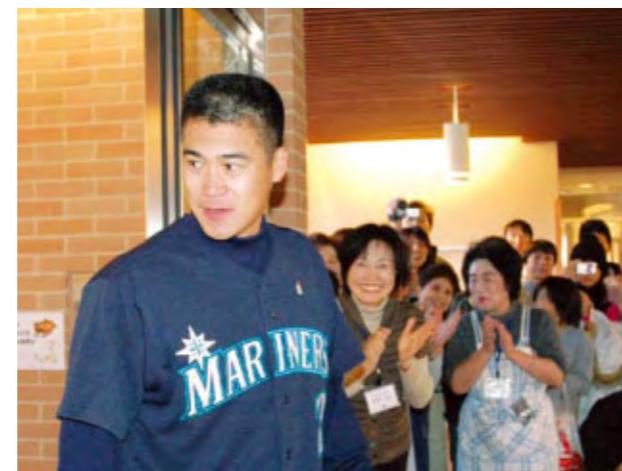
## メジャーリーガーの城島選手が子ども達を激励!

シアトル・マリナーズで活躍している城島健司選手が11月19日に「せたがやハウス」、翌20日には「おおさか・すいたハウス」を訪問してくださいました。

城島選手はアメリカのMLB選手が積極的にチャリティー活動を行っていることに感銘を受け、昨年よりアメリカにて「Assists for Kids」というドナルド・マクドナルド・ハウス財団と提携したチャリティー活動を始めました。今後、日本でもチャリティー活動を続けていきたいとの意向があり、その第一歩として日本でのハウス訪問が実現しました。

城島選手はハウスに滞在している子ども達そしてご家族一人ひとりに声をかけ、握手やサインに応じてくださいました。突然のメジャーリーガーの訪問に子ども達は大興奮の様子でした。

「子ども達と触れ合うことによって元気になってくれたらとても嬉しいです。自分のことを知らない小さな子どもでも、声をかけて頭をなでて触れ合うことによって、『この人大きい人だなあ』と感じてくれるだけでいいんです。」



城島選手はアメリカではシアトルのドナルド・マクドナルド・ハウスを訪問するほか、公式戦中に阻止した盗塁の数に応じた額をハウスに寄付しています。

「日本にいるときも野球教室を行ったり病院の慰問などをしていましたが、自分に子どもができたさらに関心が高まりました。今後もこのような活動を続けていきたいです。」と話してくださいました。

おおさか・すいたハウスでは、その日に退院した患者さんとキャッチボールをしてくださいました。投げ方などを教わり、交流を深めた子ども達にとって忘れられない一日になったことでしょう。



## 松尾貴臣アコースティックコンサート

～きみに聞いてもらいたい歌があります～

コスモスゆれる秋晴れの日、うちハウスでは心温まるコンサートが行われました。

アコースティックギターを片手にハウスを訪れてくれたのは、末期がんで余命半年と宣告されながらも笑顔を忘れなかった女性との出会いがきっかけで、ホスピタルライブを全国各地で行っているシンガーソングライターの松尾貴臣さん。

ハウスのことを知った松尾さんが、音楽を通してハウスに滞在している患者家族の皆さんやボランティアの方に勇気を届けたいとの想いでコンサートが実現しました。

外出許可をもらって駆けつけた患者やそのご家族など約70名が松尾さんの奏でる歌に聴き入りました。透明感のある甘い声と優しく美しいギターの音色に導かれながら



穏やかな気持ちになったひと時でした。

アンコールの後はボランティアの方とエール交換を行い、うちハウスロゴ入りの手作りキルトをプレゼントし、コンサートは終了しました。

一人一人の心にきっとたくさんのメッセージが届いたに違いありません。

## サンドウィッチマンが笑顔をプレゼント

2007年M-1グランプリの覇者サンドウィッチマンがせんないハウスのチャリティーイベントに協力してくれました。仙台出身のお二人は前からハウスの存在を知っており、今回ハウス内でのチャリティーイベントをお願いしたところチャリティーの趣旨に応えて快く引き受けくださいました。

ハウスにサンドウィッチマンが来るということでハウスに集まった方はなんと120名。今回はチャリティーイベントということで、入場料の一部をハウスにご寄付いただきました。ライブではネタあり楽しいトークあり、さらにゲームありでハウスは笑いの渦でいっぱいになりました。入院中の子ども達や付き添っているお母さん達の笑顔がたえませんでした。

病院からの外出許可をもらってライブを見に来ていた子どもは「サンドウィッチマンを見たから病院での治療を我慢する。これから手術も頑張る!」とたくさんの勇気を2人にもらったようです。

今回のチャリティーイベントは多くの皆さんの協力によって行われました。サンドウィッチマンのお2人はもちろんのこと、参加された地域の皆様、ハウスのボランティア、東北福祉大学のイベントボランティア、こども病院、広瀬高校、地域の方々のお力を借りて実現できたものです。オークションも実施したのでたくさんの寄付をいただくことができました。

本当にたくさんのご協力ありがとうございました。



### 『エアロちゃん』贈呈式

ネスレ日本株式会社より、『エアロちゃん』ぬいぐるみをいただき、4月9日にせたがやハウスにて贈呈式を行いました。

『Nestlé』は世界のドナルド・マクドナルド・ハウスをさまざまな形で支援をしているグローバル企業です。今回は日本国内の5つのハウスに4,000体ものぬいぐるみを寄贈していただきました。ハウスを利用している子ども達にプレゼントをするとかわいらしい「エアロちゃん」に大感激の様子でした。子ども達だけでなく、ご家族も大喜びでみんなの心を癒してくれました。



### さつき展

5月17日～6月13日の間、こうちハウスの中庭では「さつき展」が開催されました。

ハウスの中庭では、ボランティアの方が1年を通してきれいな花を提供してくださっています。中でも、何年も丹精を込めてお世話しているさつきが満開になるこの時期に、ハウスを訪れる機会がない地域の方にもハウスの存在を知っていただこうと、中庭を一般公開しています。

おかげさまで例年好評をいただいており、今年で4回目の開催になりました。今後もイベントなどを通じて地域の方との交流を図り、ドナルド・マクドナルド・ハウスの認知度向上に努めたいと思います。



### いろんなサポート

### コカ・コーラボトラー社のご支援

マクドナルドの本社内および店舗のグループルーム(従業員休憩室)には、コカ・コーラ社の自動販売機が設置されています。2005年よりこの自動販売機のドリンクお買い上げ1本につき1円がコカ・コーラボトラー社の協力によりドナルド・マクドナルド・ハウス財団へ寄付されています。2008年は総額2,917,202円でした。

いつもご支援ありがとうございます。

みちのくコカ・コーラボトリング株式会社  
仙台コカ・コーラボトリング株式会社  
利根コカ・コーラボトリング株式会社  
三国コカ・コーラボトリング株式会社  
東京コカ・コーラボトリング株式会社  
コカ・コーラセントラルジャパン株式会社  
北陸コカ・コーラボトリング株式会社

三笠コカ・コーラボトリング株式会社  
近畿コカ・コーラボトリング株式会社  
四国コカ・コーラボトリング株式会社  
コカ・コーラウエストジャパン株式会社  
南九州コカ・コーラボトリング株式会社  
沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

### 日本マクドナルド株式会社のご支援

マクドナルド店舗で販売されたハッピーセットの売り上げの一部をドナルド・マクドナルド・ハウス財団にご寄付いただいているほか、全国の店舗に募金箱を設置し、多くの方へ募金を呼びかけてくださっています。2008年の募金総額は81,966,297円にものぼりました。



### 「ビルド・ア・ベアワークショップ(BABW)」からのご支援!

2006年に計700体のドネーションベアを全ハウスに寄付してくださった『ビルド・ア・ベアワークショップ』が2008年もハウスをサポートしてくださいました。

8月22日よりチャンピオンベア「チャンプ」を発売し、2008年のその売り上げの一部をドナルド・マクドナルド・ハウス財団に寄付してくださいました。



### タイラー基金のサポート

NPO法人タイラー基金が、入院患児の兄弟のサポートとして「きょうだいサポート」をせたがやハウスに提供してくださいました。

『子どもが入院する』それはとっても大変なこと  
入院する子ども、両親そして兄弟にとって…  
そんなご家族の方へ少しでもサポートができるとタイラー基金はせたがやハウスにベビーシッターを派遣し、せたがやハウスを利用している患者家族のお子さんを保育士が預かり、ご家族の負担を軽減してくださいました。

利用されたご家族からは、ベビーシッターさんがいたから看病に集中できたとたくさんの感謝の声が寄せられました。

ハウスの支援をしてくださったタイラー基金に感謝いたします。



## Message from Supporters

### 大黒 摩季

第3回世界子どもの日スペシャルチャリティーコンサートに参加以来、応援させて頂いています。チャリティーやボランティアは関わり方や心の置きどころについていつも悩んでしまうものです。ですが、この契機に一つの答えが見つかりました。オファー当初も躊躇はありながら、自身も病気の母を持ち介護生活の過酷さを痛感していたこともあります。自分が苦しい時は助けが欲しい、だからこそその時差し出された手の温もりを忘れずに、困っている人がいたら迷わずこの手を差し伸べればいい。「心が動いたその時に出来ることをする」それが私のチャリティーであり真に心のこもったボランティアではないかと、確信したのです。

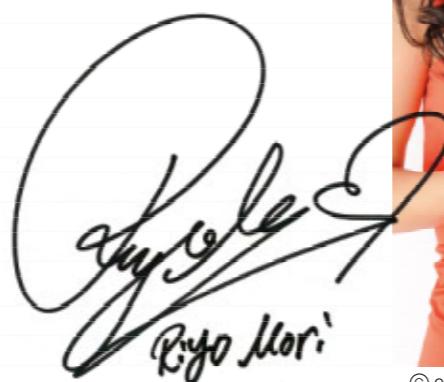
私は難病のお子さん達の夢を叶えるお手伝いをするというMake A Wishも応援しています。ドナルド・マクドナルド・ハウスが介護するご家族を支援し、親子でまた願うことを思い出せたらMake A Wishが叶えるお手伝いをする。その心を音楽が盛り上げ、それぞれの点をLove&Peaceという線で結び無垢な希望の輝きを見つめていました。心が天命を超える奇跡を見てきた者として、ドナルド・マクドナルド・ハウスという笑顔が日本中世界中に行き渡ることを心から願います。



### 森 理世(ミスユニバース2007)

ドナルド・マクドナルド・ハウスの活動には常に感心感動させられています。自分自身も心からサポートしたい!力になりたい!と思い、より多くの子ども達とそのご両親の皆様が少しでも心に安らぎと安心を与えられるハウスを沢山日本に増やしたいです。

私も心から応援サポートします!



© emiko tennichi/magazine house

### アグネス・チャン

私がボランティアを始めたのはミッションスクールに通っていた10代のころです。それから日本ユニセフ協会大使をお引き受けしている今までずっとボランティアをやってきましたが、その中で沢山の楽しさと勇気をもらいました。

ハウスでの活動は、ボランティアの方々がいらっしゃるからこそ、ご家族がお子さまと一緒にいられる日々を作っていることを誇れることです。命はみんな平等だし、人生は短くても長くても違いはありません。難病のお子さまをもっていらっしゃる方は大変なことはいうまでもありません。そういう方々に日々接することによって痛みを共感したり「私でも人の役にたてる」という自信をもち、生きがいや必要とされることの幸せを感じられることでしょう。



### 金本 知憲(阪神タイガース)

子どもが入院すると家族の生活は一変し、とても大変な状況になります。そんなご家族を支援している「ドナルド・マクドナルド・ハウス」の活動は素晴らしいと思います。

多くの企業や個人の方の寄付がハウスの運営を支え、地域のボランティアの方がご家族を支え、滞在しているご家族は入院中の子どもを支える。たくさんの人たちの支えがあってハウスは成り立っています。

世の中が子ども達の笑顔でいっぱいになるように、私もハウスを応援します。



# Financial Report

正味財産増減計算書

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
平成20年1月1日から平成20年12月31日まで (単位:円)			
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
1 基本財産運用収入	4,001,298	2,310,000	1,691,298
2 ハウス事業収入 宿泊料収入	32,206,370 23,025,000	29,516,100 22,843,000	2,690,270 182,000
運営補助金収入	7,405,273	4,828,987	2,576,286
その他の収入	1,776,097	1,844,113	△ 68,016
3 寄付金収入 寄付金収入(マクドナルド)	234,771,750 82,498,210	230,659,629 104,047,100	4,112,121 △ 21,548,890
寄付金収入(サプライヤー)	31,731,403	28,230,243	3,501,160
寄付金収入(一般)	32,566,874	23,814,886	8,751,988
募金収入	87,975,263	74,567,400	13,407,863
3 会費収入	3,013,629	2,755,000	258,629
経常収益計	273,993,047	265,240,729	8,752,318
(2) 経常費用			
1 事業費 (1) ハウス事業運営費 給料手当	189,598,366 187,278,366 40,847,905	165,845,549 162,609,509 33,103,899	23,752,817 24,668,857 7,744,006
光熱水料費	20,505,204	19,104,971	1,400,233
租税公課	14,725,053	9,036,210	5,688,843
減価償却費	46,763,262	45,971,109	792,153
その他の経費	27,319,830	21,184,802	6,135,028
事業関連経費	34,996,112	30,987,118	4,008,994
ボランティア普及費	2,121,000	3,221,400	△ 1,100,400
(2) ボランティア事業 ボランティア助成費	2,320,000	3,236,040	△ 916,040
ボランティア研修費	1,200,000	1,600,000	△ 400,000
1,120,000	1,636,040	△ 516,040	
2 管理費 給料手当	46,926,934 35,392,662	42,036,472 32,678,781	4,890,462 2,713,881
旅交通費	4,795,434	2,381,703	2,413,731
会議費	616,148	630,041	△ 13,893
通信運搬費	45,640	239,975	△ 194,335
消耗品費	918,718	287,745	630,973
諸謝金	903,000	925,625	△ 22,625
雑費	4,255,332	4,892,602	△ 637,270
経常費用計	236,525,300	207,882,021	28,643,279
当期経常増減額	37,467,747	57,358,708	△ 19,890,961
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
配当収入	450,000	450,000	0
その他収入	24,500	216,471	△ 191,971
経常外収益計	474,500	666,471	△ 191,971
(2) 経常外費用			
有価証券評価損	1,005,000	45,000	960,000
過年度減価償却費	0	110,950,804	△ 110,950,804
経常外費用計	1,005,000	110,995,804	△ 109,990,804
当期経常外増減額	△ 530,500	△ 110,329,333	109,798,833
当期一般正味財産増減額	36,937,247	△ 52,970,625	89,907,872
一般正味財産期首残高	2,505,843,096	2,558,813,721	△ 52,970,625
一般正味財産期末残高	2,542,780,343	2,505,843,096	36,937,247
正味財産期末残高	2,542,780,343	2,505,843,096	36,937,247

貸借対照表

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
平成20年12月31日現在 (単位:円)			
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,517,088	1,559,839	△ 42,751
普通預金	42,128,525	258,214,248	△ 216,085,723
郵便貯金	55,835,231	17,400,741	38,434,490
未収金	0	0	0
流動資産合計	99,480,844	277,174,828	△ 177,693,984
2 固定資産			
基本財産			
基本財産定期預金	300,000,000	300,000,000	0
基本財産土地	222,680,900	222,680,900	0
基本財産合計	522,680,900	522,680,900	0
特定資産			
ハウス建設積立資金	200,000,000	0	200,000,000
特定資産合計	200,000,000	0	200,000,000
その他の固定資産			
建物	1,655,160,572	1,444,677,151	210,483,421
構築物	10,819,435	10,710,063	109,372
什器備品	23,339,001	19,143,893	4,195,108
ソフトウェア	4,498,136	3,467,051	1,031,085
電話加入権	76,440	76,440	0
建設仮勘定	0	0	0
定期預金	0	200,000,000	△ 200,000,000
投資有価証券	27,000,000	28,005,000	△ 1,005,000
その他の固定資産合計	1,720,893,584	1,706,079,598	14,813,986
固定資産合計	2,443,574,484	2,228,760,498	14,813,986
資産合計	2,543,055,328	2,505,935,326	△ 162,879,998
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	274,985	92,230	182,755
流動負債合計	274,985	92,230	182,755
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	274,985	92,230	182,755
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	2,542,780,343	2,505,843,096	36,937,247
(うち基本財産への充当額) (うち特定資産への充当額)	(522,680,900) (200,000,000)	(522,680,900) (0)	
正味財産合計	2,542,780,343	2,505,843,096	36,937,247
負債及び正味財産合計	2,543,055,328	2,505,935,326	37,120,002
財産目録			
科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現 金	現金手許有高	1,517,088	
普通預金	みずほ銀行新宿都心支店	106,033	
郵便貯金	みずほ銀行成城支店	5,555,103	
未収金	杜の都信用金庫宮城町支店	601,786	
定期預金利息	四国銀行高須支店	1,986,967	
定期預金	りそな銀行千里北支店	102,233	
定期預金利息	足利銀行	1,232,996	
定期預金利息	三井住友銀行麹町支店	30,407,959	
定期預金利息	北海道銀行新川中央支店	2,135,448	
定期預金利息	定期預金利息	55,835,231	
定期預金利息	流動資産合計	99,480,844	
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	あおぞら銀行本店	300,000,000	
土地	東京都世田谷区大蔵	222,680,900	
基本財産合計	522,680,900		
(2) 特定資産			
ハウス建設積立資金	200,000,000		
定期預金	あおぞら銀行本店		
定期預金	定期預金合計	200,000,000	
定期預金	資産合計	200,000,000	
(3) その他の固定資産			
建 物	宿泊施設	1,655,160,572	
構 築 物	ハウス看板等	10,819,435	
什器備品	家財及び事務機器等	23,339,001	
リフトウェア	会計ソフト及びホームページ	4,498,136	
電話加入権	施設設備電話	76,440	
建設仮勘定	マクドナルド株式	0	
投資有価証券	マクドナルド株式	27,000,000	
その他の固定資産合計	その他の固定資産合計	1,720,893,584	
固定資産合計	固定資産合計	2,443,574,484	
資産合計	資産合計	2,543,055,328	
II 負債の部			
1 流動負債			
預 金	源泉所得税	274,985	
流動負債合計	流動負債合計	274,985	
負債合計	負債合計	274,985	
正味財産	正味財産	274,985	
資産合計	資産合計	2,542,780,343	

## 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

## (1)有価証券の評価基準及び評価方法について

その他の有価証券…決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は総平均法により算定)によっている。

## (2)固定資産の減価償却について

建物、構築物、什器備品及びソフトウェア…定額法によっている。

## (3)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

## 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に応する額)
基本財産				
土地	222,680,900	0	(222,680,900)	0
定期預金	300,000,000	0	(300,000,000)	0
小計	522,680,900	0	(522,680,900)	0
特定資産 ハウス建設積立資金	200,000,000	0	(200,000,000)	0
小計	200,000,000	0	(200,000,000)	0
合計	722,680,900	0	(722,680,900)	0

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	1,830,835,784	175,675,212	1,655,160,572
構築物	15,856,672	5,037,237	10,819,435
什器備品	60,938,500	37,599,499	23,339,001
ソフトウェア	6,681,628	2,183,492	4,498,136
合計	1,914,312,584	220,495,440	1,693,817,144

## 5 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

名称ならびに交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
運営補助金(自治医大)	0	3,935,500	3,935,500	0
運営補助金(吹田市)	0	3,469,773	3,469,773	0
合計	0	7,405,273	7,405,273	0

## 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	222,680,900	0	0	222,680,900
定期預金	300,000,000	0	0	300,000,000
小計	522,680,900	0	0	522,680,900
特定資産 ハウス建設積立資金	0	200,000,000	0	200,000,000
小計	0	200,000,000	0	200,000,000
合計	522,680,900	200,000,000	0	722,680,900

## 監査報告書

財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス  
チャリティーズ・ジャパン  
理事長 開原 成允 殿

平成21年2月26日

財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス  
チャリティーズ・ジャパン

監事 吉野 賢治

監事 二村 隆章

財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパンに  
係わる平成20年1月1日から平成20年12月31までの会計年度  
(第10期)の事業報告及び決算に関する計算書類を監査した結果、いす  
れも適法正確であり、かつ、正味財産の状況、財團の運用状況も正しく処  
理されているものと認めます。

以上

Board of Directors,  
Councilors and Selection Members

## 役員・評議員・選考委員の紹介

役職	氏名	所属
理事長	開原 成允	国際医療福祉大学 大学院医療福祉学研究科 大学院長
専務理事	廣瀬 修	清泉女子大学 理事
常務理事	島田 浩三	常勤
理事	炭谷 茂	社会福祉法人恩賜財団 済生会 理事長
	大野 晃	森永乳業株式会社 代表取締役会長
	村上 陽一郎	東京大学 名誉教授
	有村 治子	参議院議員
	大楠 忠男	フジパングループ本社株式会社 専務取締役
	鶴橋 誠一	スターゼン株式会社 代表取締役社長
	ダニエル・H・セイヤー	日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長
	横山 利夫	AIU保険会社 日本における代表者 CEO
	好本 一郎	日本マクドナルド株式会社 取締役 上席執行役員
監事	二村 隆章	公認会計士
	吉野 賢治	公認会計士
評議員	西村 由美子	オーガストネットワークインク 代表
	残間 里江子	プロデューサー
	矢島 尚	株式会社プラップジャパン 取締役会長
	ジェフリー・マクニール	Market Makers Inc. 代表取締役社長
	宮田 佳代子	テレビキャスター
	後藤 亘	株式会社エフエム東京 代表取締役会長
	岩崎 優	日本マクドナルド株式会社 コーポレートリレーション本部 CSR部長
	下平 篤雄	日本マクドナルド株式会社 取締役 上席執行役員
	柳澤 正義	国立成育医療センター 名誉総長
	大熊 由紀子	国際医療福祉大学大学院 教授
	南 砂	読売新聞東京本社 編集委員
	佐多 保彦	東機貿グループ各社 代表取締役社長
選考委員	柳澤 正義	国立成育医療センター 名誉総長
	堀口 雅子	虎の門病院産婦人科 元医長
	丸木 一成	国際医療福祉大学 医療経営管理学科 教授
	栗山 真理子	NPOアレルギー児を支える全国ネット「アラジーポット」専務理事





日本コカ・コーラ株式会社 代表取締役社長 ダニエル・セイヤー  
Daniel H.Sayre Representative Director&President Coca-Cola(Japan)Co.,Ltd.



ザ コカ・コーラカンパニーは、世界各国でドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズの活動を支援しております。日本でも設立当初より同財団の活動を支援させていただければ私どもの誇りでもあり心から光栄に存じております。私どもはこれからも財団の活動支援を通じて、地域社会に根ざした企業市民として「いつでも。どこでも。だれにでも」さわやかさとうるおいを提供してまいりたいと願っております。

We are proud of and it is our great honor to support the Donald McDonald House Charities Japan, in the same way that we support our valued partner, Donald McDonald House Charities, globally. Through this support, we will continue to pursue our mission through refresh people "anywhere, anytime, everybody", through the country, as a corporate citizen rooted in local communities nationwide.



日本マクドナルド株式会社 代表取締役会長兼社長兼CEO 原田 泳幸  
Eikoh Harada President, Chairman and CEO, McDonald's Company(Japan), Ltd.

子どもたちの笑顔は時と場所を越え、すべての人たちの共通の宝物です。マクドナルドは世界規模で、子どもたちの幸せを願ってさまざまな活動をしています。

このドナルド・マクドナルド・ハウスへの支援もその活動の大きな柱であり、世界30カ国285のハウスを数えるに至っています。日本マクドナルドも日本におけるハウスの建設・運営を支援する企業の一つとして開設以来積極的にサポートしてまいりました。2008年末現在、日本には6つのハウスが運営されていますがまだまだ必要とされています。病気で自宅から遠く離れ入院を余儀なくされているお子さんとそのご家族が1日でも早く笑顔を取り戻せるよう、われわれ多くの企業や個人の皆様とともにこの活動を今後とも支えていく所存です。これから多くの方々がこの支援の輪に加わって下さることを願っております。

Smiles of children are treasure for everyone at any time and any place. McDonald's conducts various activities at a global level out of wish for happiness of children.

Its support to Donald McDonald Houses is a main pillar of these activities and 285 Houses are now in operation in 30 nations. McDonald's Japan has aggressively assisted construction and operation of Houses in Japan as a sponsor since their openings. While 6 Houses were in operation as of the end of 2008 in Japan, we still need more Houses. We intend to continue helping these activities in cooperation with other corporate and individual sponsors and volunteers to make sure children hospitalized in medical institutions away from their homes and their families will regain smiles as soon as possible. And I hope many more people will join our efforts to support the activities.



スターゼン

Delmar Echo

QUINTILES TRANSNATIONAL

TOPPAN

HAVI Global Solutions



KENKO

ina

Rose Packing Company

ICAP

morinaga

Cargill  
Cargill Meats (Thailand) Limited

## GOLD SPONSORS

日本コカ・コーラ株式会社  
日本マクドナルド株式会社

## SILVER SPONSORS

アイ・ティー・エス・ジャパン株式会社  
株式会社イナ・ベーカリー  
クインタイルズ・トランスナショナル・ジャパン株式会社  
ケンコーマヨネーズ株式会社  
スターゼン株式会社  
デルマール株式会社  
東京コカ・コーラボトリング株式会社  
凸版印刷株式会社  
ネスレ日本株式会社  
株式会社富士エコー  
フジバングループ本社株式会社  
森永乳業株式会社  
Cargill Meats (Thai Land),Ltd.  
HAVI Global Solutions株式会社  
ICAP東短証券株式会社  
Rose Packing Company,INC

## BRONZE SPONSORS (個人)

安藤 二郎	長瀬 淑子
伊勢本 要	西田 省三
稻田 恭子	野中 圭樹
植田 祥章	原田 キミコ
大石 洋	原本 俊則
大野 照雄	東本 秀雄
岡崎 政信	平田 初枝
開原 成允	深堀 圭一郎
北竹 将浩	藤本 順真
北田 善保	北東 哲也
木原 巧	星野 心胡
工藤 亨	政田 チカラ
熊谷 卓司	松井 かつ子
坂本 沙実子	松浦 多賀雄
坂本 高子	宮本 誠司
佐多 保彦	村上 知
佐藤 仁志	村上 陽一郎
島田 浩三	屋和田 航
杉本 容	吉川 敦行
竹内 久雄	吉野 賢治
玉井 克明	世間瀬 基樹

## BRONZE SPONSORS (企業)

アクセシチュア株式会社  
株式会社アメリカ  
株式会社アルゴ  
アンカー・シップ・インベストメント株式会社  
株式会社岩河  
株式会社エムアンドエイチ  
近畿コカ・コーラボトリング株式会社  
グリフィス・ラボラトリ株式会社  
クレストグループ株式会社  
株式会社コーニッシュ  
コカ・コーラセントラルジャパン株式会社  
株式会社サングローブフード  
株式会社サンケイリビング新聞社  
讃陽食品工業株式会社  
サンリッチモード株式会社  
住友スリーエム株式会社  
西南開発株式会社  
株式会社西武百貨店  
大同印刷株式会社  
東亜レジン株式会社  
利根コカ・コーラボトリング株式会社  
株式会社中西製作所  
日本ゾーディック株式会社  
福岡大同青果株式会社  
福島工業株式会社  
株式会社フジクラコンポーネンツ  
株式会社プロモートワン  
兵神装備株式会社  
北海道建築設計監理株式会社  
有限会社ホット・ショット  
マチダマゴス株式会社  
医療法人松井内科医院  
株式会社松村組  
株式会社マルマサフード  
三井物産株式会社  
明治乳業株式会社  
メロディアン株式会社  
リフレッシュ  
レモンガス株式会社  
株式会社早稻田情報技術研究所  
Bama Companies  
株式会社NSC(旧西山ステンレスケミカル株式会社)  
株式会社SWキッチンテクノ  
UCC上島珈琲株式会社

(五十音順)

皆さまからのご支援により多くの病気の子どもとその家族に笑顔を届けることができました。  
ご支援いただいたすべての方に心より感謝いたします。